

No	事業名	事業概要	充当額（円）	実施状況	効果
1	防災活動支援事業	災害時避難所において床からのウイルス対策として折り畳み簡易ベッドを整備	613,000	避難所用簡易ベッド93台導入	避難所においてウイルス対策に期待でき、個々のスペースを確保することで、密集密接を避ける体制が整備された
2	庁内IT（グループウェア）環境整備事業	役場庁舎内において相互の接触を軽減し、新型コロナウイルス感染症の防止を図るため、グループウェアソフトを導入	1,210,000	簡易的な文書管理機能、ダイレクトメッセージ機能等を備えたグループウェアを導入	掲示板、回覧、電子会議室機能などを利用することで、接触機会が軽減、コロナ関連情報の迅速な共有、在庁・在宅職員間での情報連携の効率化が図られた
3	インフルエンザワクチン接種事業	インフルエンザ予防接種に係る費用のうち自己負担分を公費負担とする	1,370,000	ワクチン接種者1,630名	発熱時の病因識別作業の軽減、インフルエンザの発症及び重症化を防ぎ、新型コロナウイルス感染症との同時流行を防いだ
4	指定管理施設感染防止対策機器整備事業	不特定多数の町民が利用する指定管理施設の入館時、施設利用者に対しサーマルカメラによる検温を行い体温をお知らせすることにより、体調不良者の入館を未然に防止する	753,000	非接触型自動検温器4台（いきいき88、フルーツパークにき、ふれあい遊トピア公園、山村開発センター） 消毒液供給装置3台（いきいき88、フルーツパークにき、ふれあい遊トピア公園） 非接触型検知機能付消毒液供給装置2台（大江・銀山へき地保育所）	施設入館時にサーマルカメラによる検温を行い、体温を知らせることにより体調不良者の入館を未然に防止する体制が整備された
5	サーマルカメラ整備補助金交付事業	町内事業所が行うサーマルカメラ導入に対し整備費用の一部を補助	1,337,000	助成事業者12件	不特定多数の人が出入りする町内事業所において、感染防止に取り組む環境を整備した
6	新型コロナウイルス感染症予防対策環境整備事業	消防職員が新型コロナウイルス感染症対応で出動する際の防護キットや感染症対応の資機材の整備	4,923,000	保護メガネ（裸眼用）9個 保護メガネ（オーバーグラス）6個 メガネポーチ15個 屋型テント4式 薬液供給装置4台 速乾性手指消毒剤10個 ディスポマスク30箱 顔認証温度感知システム2台 透明ロールスクリーン1式 クリアパーティション1個 心臓マッサージ機1式 熱画像直視装置1台	感染者の救急対応、消防職員の感染防止、消防団拠点施設及び団員の活動における感染防止のための環境が整備された
7	新型コロナウイルス感染症予防対策事業（換気改善）	フルーツパークにきコテージ5棟への給換気機能付き冷暖房機設置	1,980,000	給換気機能付きエアコンの導入5台	熱中症及び新型コロナウイルスへの換気対策が図られた
8	新型コロナウイルス感染症対策事業（選挙管理事業）	各投票所でパーティションやサーマルカメラ付き体温計、自動センサータイプの薬液供給装置、発熱者対応の記載台を設置、開票所では作業台の間隔を広げ事務を行えるよう、開票台を追加し、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減を図る	2,464,000	パーティション40枚 サイドパーティション70枚 自動液薬供給装置6台 サーマル体温計2台 記載台（発熱者隔離用）6台 開票台9台 開票台加算3枚 使い切り手袋10箱 不織布マスク10箱 使い切り鉛筆（1,000本入り）5箱 投票台等消毒用アルコール（200ml）20本 液薬供給装置詰め替え用アルコール（5ℓ）10個	感染拡大防止対策を図ることができ、投開票場において密集密接を避け、衛生環境を保つ環境が整備された
9	敬老記念品贈呈事業	高齢者のコミュニティの場の喪失に対する生きがいづくりとして、事業中止に協力いただいた高齢者に、観光客が激減し、売上げが低迷している町ゆかりの菓子類を配付	1,794,000	77歳以上の町民に598セット配付	高齢者の生きがいづくり、地域経済の維持が図られた
10	地域産業経済復興支援事業（地域応援商品券）	売上が減少している町内の観光農園、直売所、ワイナリー、飲食店等に対し、持続的な営業の継続を支援するため、町民に地域応援商品券を配付	17,202,000	商品券額面1,618万円配布 1,540万1,000円（95.2%）使用	町内観光農園、直売所、ワイナリー、飲食店等の持続的な営業の継続について支援できた
11	空き家調査事業	空き家調査を行い、町内の空き家の実態を把握し、所有者の特定を行う	2,970,000	空家等と推定される建物108件 所有者等が特定された件数97件	調査結果を空き家を活用したワーケーションの推進、関係人口の増加、都市部からの移住促進など、今後の政策に反映させることができる
12	ワーケーション施設等環境整備補助事業	町内におけるワーケーション対応施設としての環境を整備する	11,148,000	3件12,965,000円（Aja、にきや、ニキヒルズ）	町内におけるワーケーション環境を整備し、観光振興やリビングシフトに対応できる環境が整備された

13	新たな生活様式観光事業実証事業（ワインバス）	withコロナ期、afterコロナ期におけるワインツーリズムを推進するに当たり、既存の公共交通機関で訪れる観光客が町内ワイナリーを訪れるための2次交通手段として運行実証事業を行う	149,000	運行計画の策定、告知PR用フライヤー並びにウォーキングマップ等の製作に着手したものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う緊急事態宣言により中止	事業中止のため効果の把握できず
14	新たな生活様式観光事業実証事業（旅行スタイル環境整備）	コロナ禍において「3密」を避けることができるキャンプやアウトドア系のアクティビティの需要が高まっていることから、自然豊かな本町の地域資源を活用した新しい旅行スタイルの環境整備に向けた実証事業を行う	495,000	RVパーク環境整備のため、電気コンセント等設置 コロナ禍においても快適に車中泊ができる環境か、実証実験を10月に実施	RVパーク設置に向け実証実験を行い、本町の地域資源を活用した新しい旅行スタイルの環境が整備された
15	地域公共交通維持支援事業	地域住民の日常生活や経済産業活動を支えるエッセンシャルサービスである地域公共交通について、長引くコロナ禍による危機を乗り越え、機能し続けられるよう、町内公共交通事業者及び町内を運行する一般乗合旅客自動車運送事業者に対し支援する	2,650,000	4事業者に支援（イナホ観光株、旬五共ハイヤー、中央バス、ニセコバス）	新型コロナウイルス感染症の影響による危機を乗り越えるため、公共交通機能を維持する支援を行った
16	休業協力支援金	緊急事態宣言に伴い、休業指示を行った指定管理者に対し、支援金を支給し事業継続のための支援を行う	2,000,000	指定管理者2件 ・フルーツパークにき（株）自然農園 ・ふれあい遊トピア公園（株）北海道名販	施設使用制限に協力したことで、感染拡大の防止が図られた
17	サーマルカメラ整備補助金交付事業	町内事業所が行うサーマルカメラ導入に対し整備費用の一部を補助	280,000	助成事業者4件4台	不特定多数の人が出入りする町内事業所における感染防止に取り組む環境が整備された
18	新型コロナウイルス感染症予防対策事業（国R2予算分）	マスク着用が新しい生活様式となり、マスクを着用していない場合と比べると熱中症のリスクが高まるおそれや乳幼児や高齢者などが健診等で利用の多い保健センターは医療施設を兼ねており、換気機能と連動した冷暖房設備を整備することで、熱中症対策及び換気対策を行う	17,947,000	保健センター3部屋3台設置	換気機能と連動した冷暖房設備を整備したことで、熱中症対策及び換気対策が図られた
19	新型コロナウイルス感染症予防対策事業（国R3予算分）	同上	368,000	同上	同上
20	公共施設感染防止対策環境整備事業	施設利用者に対し手指消毒のほか、共用で使用するトイレ設備に消毒設備を設置し、衛生環境の保持を図る	1,170,000	■便座除菌クリーナー用ディスペンサー ・役場庁舎34台 ・いきいき886台 ・フルーツパークにき32台 ・観光農園等管理施設3台 ・ふれあい遊トピア公園6台 ・給食センター3台  ■便座除菌クリーナー ・役場庁舎16本 ・いきいき885本 ・フルーツパークにき15本 ・観光農園等管理施設2本 ・ふれあい遊トピア公園6本	接触による新型コロナウイルス感染症感染拡大を防ぐため、トイレ等入館者が共用で使用する施設において設置し、共用施設の衛生環境が整備された
21	自宅待機応援セット配付事業	濃厚接触者と判定された者のうち、希望者に対して食料品等の配付事業を行う	19,000	39件配布 ※うちコロナ充当分は2件その他は単費	濃厚接触者と判定された方へ、食料品及び日常生活品を届けることで、精神的負担や感染拡大防止対策が図られた
22	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開に伴う感染症対策・学習補償等に係る支援事業	1,800,000	・保健衛生用品等（感染症対策等支援分） ・タブレット等（学習保障支援分）	学校再開及び学校教育活動の継続等を支援するための経費を助成し、学びの保証が図られた
23	社会教育団体支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大により、町内の社会教育団体が主催する事業の中止に伴い、事前に発生した事業の準備等に要した費用を補助することにより、各種団体における運営の継続を支援する	65,000	助成団体1件	新型コロナウイルス感染症の影響により、急遽中止や延期せざるを得ない事業について、準備等に要した費用を助成することで団体の運営継続が図られた
	合計		74,707,000		